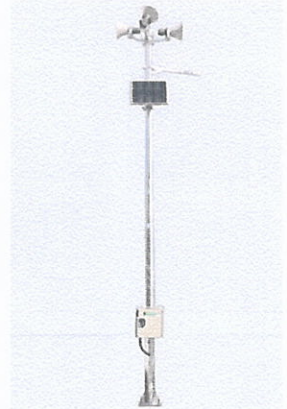


注目  
防災機器  
推奨品

自治体が注目して採用する、停電中でも情報を拡声放送する

# 「防災用街角ラジオ」 FM放送受信型 戸別受信機・防災ラジオ対応型



ミーアキャット 60  
那須町(10基)導入



ミーアキャット ハンディ  
静岡市清水区(2基)導入



ミーアキャット スタンダード  
静岡市清水区(8基)導入



〔事例〕 那須岳登山口駐車場トイレ



〔事例〕 那須岳山腹の避難小屋

災害発生直後に起こる停電では、最新の情報を得ることが難しくなる……これは、災害大国といわれる日本で暮らす我々にとって大きな不安材料のひとつだ。

そんな中、栃木県那須町は昨年、太陽光発電とバッテリーを使用した独立蓄電方式により、電源のない場所でも情報を拡声放送し続けることができる防災機器である「防災用街角ラジオミーアキャット60 戸別受信機・防災ラジオ対応型」(株式会社 暁電工)を採用した。

同町では防災行政無線のデジタル化整備工事を実施したが放送の行き届かない地域などがあり、防災行政無線の難聴地区や未整備地区を補完するものとして那須町町内の平地へ10基、那須岳登山口駐車場(峠の茶屋)にあるトイレと、那須岳山腹の避難小屋(峰の茶屋)へそれぞれ1基ずつ(カスタマイズを行い分割型として)、「防災用街角ラジオミーアキャット」を設置した。

町内の平地へ10ヵ所設置したことにより、今まで防災行政無線の放送が聞こえにくかった地域にも放送が伝わるようになった他、制御箱に設置されたハンドマイクはローカルエ

リアでの拡声放送が可能なため、災害時に危険を呼びかけるだけではなく地域行事などにも活用できる。

いうまでもなく、那須岳は、常時観測火山に指定されている活火山だ。山では電気をとることが難しく、携帯電話の電波が入らない場所も多く、同町でも那須岳に訪れる人に災害情報を知らせる手段が今までなかったことから暁電工に相談があり、設置の運びとなった。

また、静岡県静岡市危機管理総室では、「防災用街角ラジオミーアキャット 戸別受信機・防災ラジオ対応型」を発注。現在、「ミーアキャットスタンダード」を8基、新たに開発した「ミーアキャットハンディ」2基を設置の方針だ。「ミーアキャットスタンダード」の8基については津波避難誘導施設への設置を検討しており、静岡市清水区の沿岸地域を中心に命山や市外からの利用者が多い施設へ設置される予定だという。

「ミーアキャットハンディ」は、通常はアルミ収納箱の中にバッテリー・太陽光パネル・制御箱などすべての部品を収納して防災倉庫などへ保管しておき、災害時やイベントなどで使用する際に組立てて使用するタイプ。防

災倉庫や避難場所に保管しておくことで防災訓練などにも活用でき、災害時だけではなくイベントや地域行事など様々な場面でも使える。静岡市では通常は防災倉庫に保管しておき、イベント開催時に各イベント会場へ持ち込んで使用する予定とのことだ。

「防災用街角ラジオミーアキャット」のラインナップは、「FM放送受信型」と「戸別受信機・防災ラジオ対応型」の2タイプだ。設置する場所により大きさの異なる「ミニ」「スタンダード」「60」「ハンディ」の4タイプがある。

「FM放送受信型」は、通常待機時はFMラジオ放送をミュートで受信し、FM放送局の緊急地震速報の報知音(チャイム音)や緊急警報放送の出力信号(ピロピロ音)を検出すると自動的にミュート状態を解除してFMラジオ放送を拡声放送。「戸別受信機・防災ラジオ対応型」は、戸別受信機や防災ラジオをミーアキャットの制御箱内に収納し、市町村役場に設置されている親局から災害情報や行政情報などを発信すると制御箱内に収納された戸別受信機や防災ラジオからの音声出力信号を検出し、自動的に拡声放送するなどが特長だ。